

日本小児泌尿器科学会（2024年） 優秀論文賞 学会誌部門

小児の夜間を含む尿禁制獲得時期に関与する因子
～縦断的コホート研究（エコチル調査より）～
: The Yamanashi Adjunct Study of the Japan
Environment and Children's study



志村 寛史（山梨大学大学院 総合研究部 泌尿器科学講座）

この度第33回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会において、このような栄誉ある論文賞をいただくことができました。誠にありがとうございます。

論文の内容は小児の尿失禁に関わる疫学調査によるものです。夜尿症や昼間の尿失禁は、一般集団においても非常に多くのお子さん、親御さんが悩まれる疾患です。これまでに行われてきた研究でも、小児の尿失禁の自然史やリスクファクター等が示されてきましたが、大規模な縦断研究でリスクファクターについて検討したものはなく、そういった研究の手法の点で本研究は意義のあるものでした。非常に多くの因子について検討し、排便の自立度が尿禁制獲得に強く関与していたことが分かりました。他にも発達の種類なども一定の関与が考えられましたが、児の肥満や家庭環境からのストレスなどは関与が乏しいことが分かりました。

今回の発表内容は疫学研究であり、調査にご協力いただいた多くの親御さん、データを管理して下さったスタッフの方々、当院のコホートセンターの方々など、関係の方々に御礼申し上げます。この度は大変栄誉ある賞をいただき、またこのようなコメントの機会をくださり、携わっていただいた先生方に深謝いたします。これを励みにさらなる研究に研鑽して参りたいと思います。